

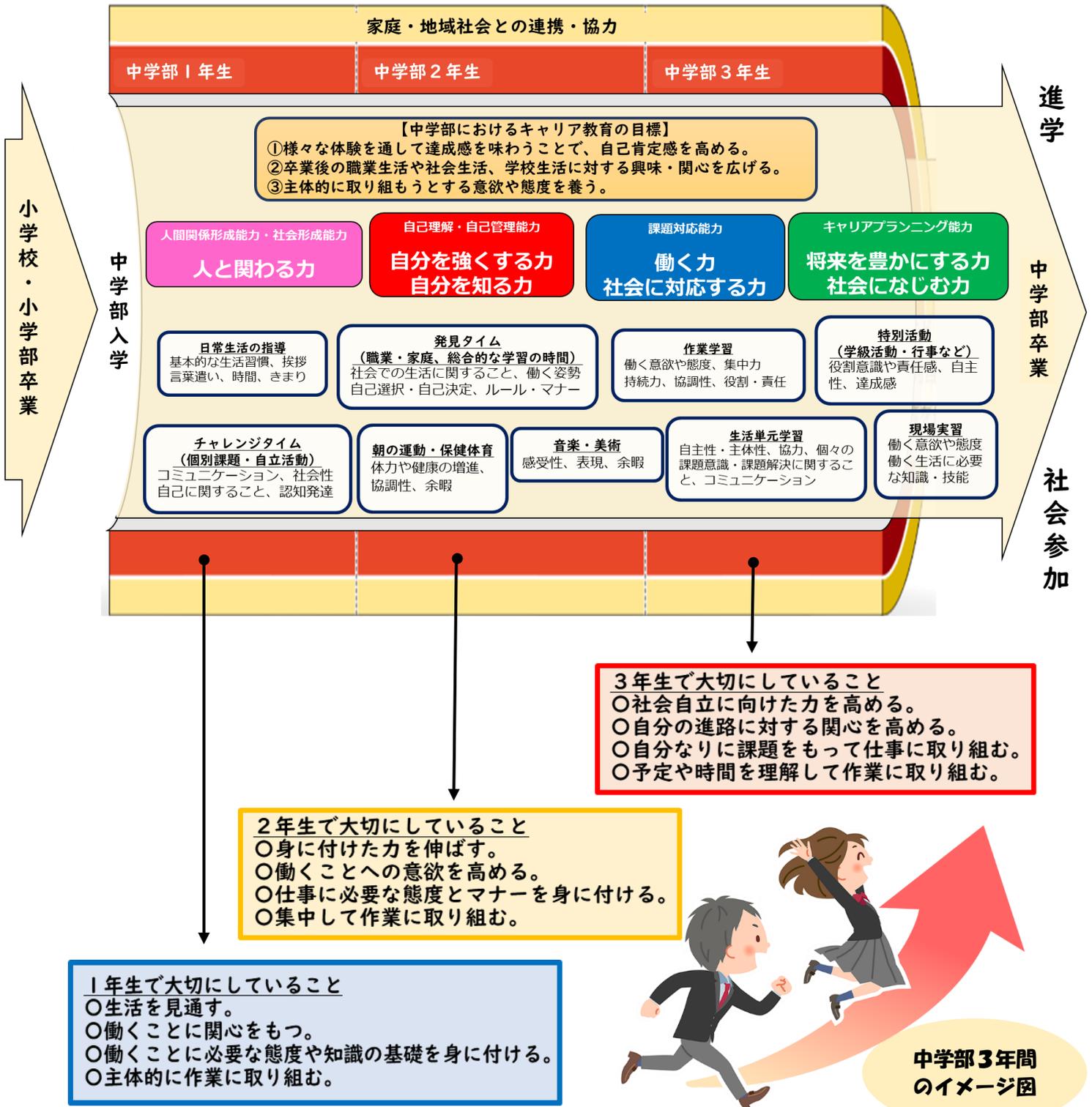


# 進路・移行支援部より

令和2年9月25日発行 文責：新妻

## 【今回のテーマ】キャリア教育について（2）～中学部段階での進路指導～

「自分は将来なにをしているのかな?」、「今やっていることが、将来どう役に立つの?」皆さんは、そんなことを考えたことはないでしょうか? 中学部段階になると、社会への入り口が少しずつ見えてきて、高等部への進学や就職など、自分の進路について少しずつ具体的になる時期でもあります。そのため、教育活動において『働く生活』を意識した取り組みが増えていきます。では、中学部ではキャリア教育について、どのようなポイントを押さえて指導に取り組んでいるのか、イメージ図をもとに紹介させていただきます。



◎中学部の生活における進路指導の取り組み

ここからは、中学部の生活の中心である「生活単元学習」と「作業学習」との場面を例に、具体的にどのような学びがあるのかを見てみましょう。また、職業・家庭の取り組みをしている「発見タイム」の場面も紹介します。

<生活単元学習>

・生活の中にある一連の活動に取り組み、自立に必要なことを体験的・实际的に学んでいます。



布の折り方はこうかな？

紐の長さは合ってるかな？

「マスクの作り方」をグループの友達と相談しています。仲間と共通の目的をもち、協力して解決に向かうことで、社会性や主体性、コミュニケーションの力を育みます。



釘をよーく見て  
まっすぐ打つぞ！

ベンチが  
出来ました！

新校舎で使う「下駄箱」や「ベンチ」を作っています。自分たちの生活に関連付けながら、体験的・实际的に活動する中で、達成感や自信を培いながら、自身の課題解決に向かう力を育みます。

<作業学習>

・将来の職業生活や自立に必要なことについて、作業活動（やきもの・えんげい）を通して学んでいます。



泥が落ちきるまで  
このまま待ちますよ。

泥が落ちきるまで  
がまん、がまん。

やきもの班で手順を守ってお碗を作っています。製品作りをとおして、任された役割を果たす力、集中力や持続力、報告・連絡・相談など働くことに必要な知識や態度を育みます。

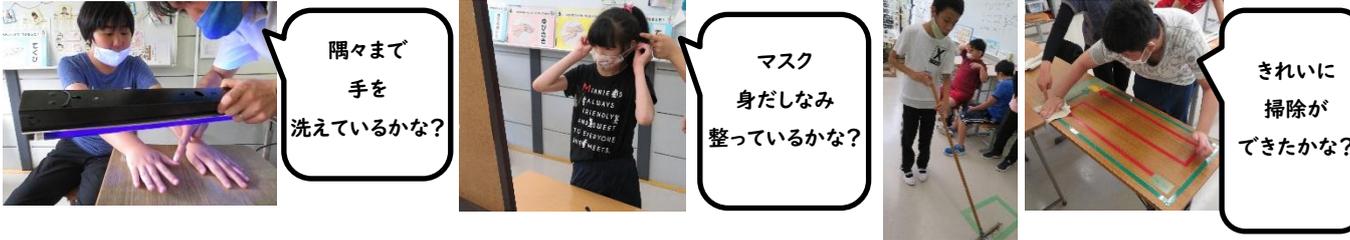


続けて作業を  
頑張ります！

お買い上げ  
ありがとうございました！

えんげい班で育てた花を、注文してくれた人に手渡ししています。自分たちが一生懸命作った製品を販売することで、働く意欲や社会性、コミュニケーションの力を育みます。

<発見タイム>



隅々まで  
手を  
洗えているかな？

マスク  
身だしなみ  
整っているかな？

きれいに  
掃除が  
できたかな？

発見タイムでは、手洗い・うがいやマスクの正しいつけ方、箒の使い方、机や窓の拭き方などの学習に取り組みました。普段何気なくしていることであっても、実はとても大切なことであり、日々の積み重ねが『自立』や『働く生活』につながる力になっていきます。学んだことは10月の校内実習・産業現場等における実習(現場実習)や、その後の学校・社会生活にも生かしていきます。

◎最後に

中学部での学習の一部をピックアップし、キャリア教育の視点を交えて紹介させていただきました。キャリア教育は今回紹介した場面だけではなく、中学部の生活全般で育んでいくものです。ですので、普段の生活を改めて振り返ると『自立』に向けたヒントが見つかるかもしれません。将来のために何ができるのか、何が必要なのかを、学校と家庭で連携をしながら考え、子ども達の成長と一緒に支えていきましょう！